AloT向けOS Contiki OS入門編

第1回 Contiki OS とは・・・ お約束のhelloworldを試してみる

「北海道AloT研究会」

Contiki OS入門 (第1回) 「ContikiOSとは...」

Contiki(読み:コンチキ,コンティキ)とは8ビットコンピュータや組み込みコンピュータ向けのオープンソースのオペレーティングシステム (OS) である。

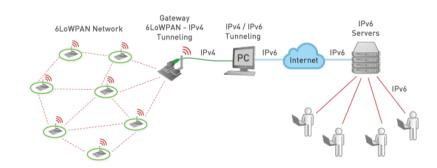
ネットワークやマルチスレッド、GUIなどをサポートしつつ、8ビットコンピュータなどのメモリの少ないマシンでも実行できるのが特徴である。計算資源の限られた組み込み系機器が主体となる、<u>IoT(Internet of Things)</u>の実装にも用いられる。

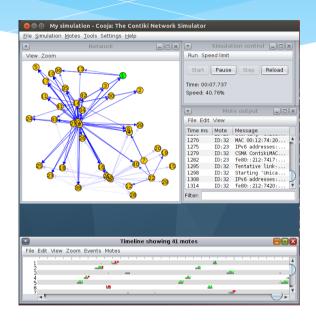
出典 <https://ja.wikipedia.org/wiki/Contiki>

Contiki OS入門 (第1回) 「ContikiOSとは...」

ContikiOSの特徴

- Multi threaded
- IP/UDP/TCP/IPv6
- CoAP/6LoWPAN/RPL
- Coojaネットワークシュミレータ





その他、きりがないので<<u>http://www.contiki-os.org</u>>の方を見て下さい、(^^)ゞ

1) 必要なもの・・・

ContikiOSを試す環境としてSTMicroelectronicsの「ST Nucleo Board STM32L152RE」というボードを使います。

USBケーブルが別途必要です。

2) WindowsマシンにVirtualBoxを準備する。

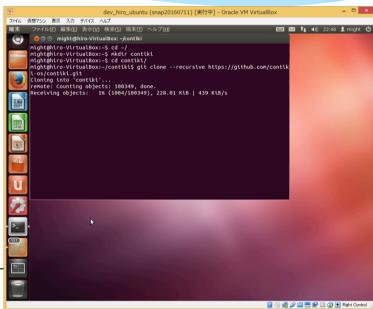
https://www.virtualbox.org/wiki/Downloads 今回はWindows8.1 Proにvirtualbox Ver 5.0.24を使用しています。

3) GNU ARM Embedded Toolchainを準備する。

<https://launchpad.net/gcc-arm-embedded>

4) VirtualBoxを起動して端末(ターミナル)から、Gitでダウンロード





cd ~/
mkdir contiki
cd contiki
git clone --recursive https://github.com/contiki-os/contiki.git

5) サンプルのHelloWorldをビルドする



```
Cloning into 'tools/sensniff'...
remote: Counting objects: 190, done.
remote: Total 190 (delta 0), reused 0 (delta 0), pack-reused 190
Receiving objects: 100% (190/190), 36.71 KiB, done.
Resolving deltas: 100% (99/99), done.
Submodule path 'tools/sensniff': checked out '0d57c1129b601d29a58bffe6e34803af5e
1701af'
might@hiro-VirtualBox:~/contiki$ ls
contiki
might@hiro-VirtualBox:~/contiki$ cd contiki/examples/hello-world/
might@hiro-VirtualBox:~/contiki/contiki/examples/hello-world$ ls
Makefile README.md hello-world-example.csc hello-world.c
```

cd contiki/examples/hello-world make TARGET=stm32nucleo-spirit1 arm-none-eabi-objcopy -O binary hello-world.stm32nucleo-spirit1 hello-world.bin

6) 「contiki/examples/hello-world」下に「hello-world.bin」ができます。

STM32L152REをWindowsにUSBケーブルで接続すると、USBメモリーとして認識しますので、hello-world.binをドラッグすれば、インストール完了です。

実際の動作方法は、第2回以降に予定しています。 Contikiには、たくさんのサンプルがありますのでみなさん もContikiで楽しんで下さい。

